

広報

よみか

第300号 発行日 昭和62年12月10日

編集 二宮町広報編集委員会
発行 二宮町企画室 二宮961番地 電話71-3311

二宮町民憲章

1. 郷土を愛し、自然をいかすきれいな二宮町をつくりましょう。
1. ふれあいを深め、ことばをかけあうさわやかな二宮町をつくりましょう。
1. きまりを守り、良習をはぐむ住みよい二宮町をつくりましょう。
1. 幸せを願い、健やかな、明るい二宮町をつくりましょう。
1. 教養を高め、文化のかおる豊かな二宮町をつくりましょう。

昨年の歳の市(北口通り商店街にて)



暮れゆく62年

正月を迎えるために — 私のワンポイントメモ —

新年まであとわずか。これから年末にかけて、どこの家庭でも正月を迎える準備にあわただしい時を過ごすことでしょう。そんな中でも、年末の過ごし方をひと工夫させ、一年のけじめをつけたいものです。そこで、正月を迎えるまでのワンポイントを三人の方に語っていただきました。



大磯警察署
熊倉交通課長

飲酒運転の追放

年末から年始にかけては、酒を飲む機会が多くなります。また、この時期は飲酒運転の事故が増えるときもあり、事実昨年は飲酒による事故死の約三割がこの時期に起こっています。

では、なぜ酒を飲むと事故が起るのでしょうか。酒を飲めば注意力が散漫となり、認知(発見)能力が確実に低下するからです。あるデータによると、コップ二杯のビールを飲み、40km/hの速度で交通標識の確認をさせたところ、正常時は95%確認できたのですが飲酒後は62%しかできませんでした。

「これくらいは大丈夫だよ」となどと考えず、絶対に飲酒運転はやめましょう。なお、警察署では、年末の特別警戒を実施します。(酒気帯び運転は免許停止、飲酒運転は取り消しです。)



婦人会料理部
大塚ハツ子さん

おせちは手際よく

お正月の楽しみは何と言ってもおせち料理ですね。でも、主婦としては作るのが大変。品数や量も多いし、保存も考えなくてはいいけません。とても、いっ

べんに作るのは無理です。おせち料理はいかに順序を決めて手際よく作るかがポイント。日もちを考えると、一応のスケジュールを立ててみました。

【28日】ナマス、キンピラ
【29日】キントン、黒マメ、ゴマメ
【30日】ヨウカン、コフ巻、数の子
【31日】煮しめ、だて巻

売っているものは味付けが濃い目ですから、やはり手作りの方がおいしいようです。また、買物は27-28日ごろまでには済ませておくと、良い物が手に入ります。



町社会教育指導員
橘川 吉治さん

大掃除のしきたり

昔は、煤(すす)はらいと言って町中で行う大切な行事だった。12月の中旬ごろの天気の良い日に、一家総出で夜明けから掃除を始める。まず、庭一面に箒(ほうき)を敷き、障子やふすまはもとより、家の中の一切合財を運び出

す。次に畳も全部あげて、日光にあてる。

それからが大掃除の本番。青い笹竹(忠臣蔵の大高源吾が師走の街で笹竹を売ったことは有名な話である)で家の内外の煤を払う。これが終わると、柱や板の間の雑巾がけ。

午後になると畳を一枚ずつ竹でたたいて埃を出す。この音が一斉に町中に響いて来ると迎春の気分がみなぎったものである。

やがて、畳が入り、家具が元の場所に納まるころには夕やみが迫ってくる。こうして大掃除が終わる。

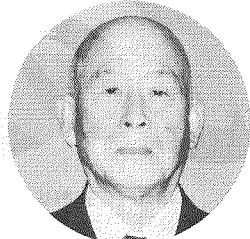


町史編さん委員会を設置

町では、町の歴史を知り、新しい町づくりの手掛かりとして欠かすことができない「町史の編さん」に取り組んでいます。このたび、その事業の推進のため「町史編さん委員会」を発足させました。

町史編さん委員会委員

氏名	役職	住所	年齢
里山 馨	議会議長	富士見が丘2-19-23	63
池田彦三郎	学識経験者	二宮224	75
船川 豊	"	大磯町	52
秋山 光洋	"	川句230	55
二見 長平	"	川句6	71
石井 文雄	"	中里1051	58
坂本 昇	"	二宮814	75
神保 信三	"	二宮1289	71
石井 久蔵	"	二宮516	84
佐藤美智子	"	中井町	56
西山喜徳郎	助 役	二宮961	60
橋川 眞一	教育長	"	64
川口 喜宏	総務担当参事	"	51



松本彦義氏 (74)
山西82

勲四等瑞宝章

長年にわたりさまざまな分野で活躍し、社会のために尽くされた功労者に贈られる昭和六十二年「秋の叙勲」で、当町から四名のかたがその栄誉に輝きました。

町からは四名が受賞

叙勲の栄誉に



二見長平氏 (71)
川句6

勲五等双光旭日章

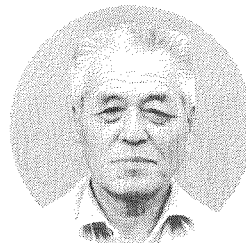
れていました。



島村速雄氏 (66)
富士見が丘3-8-7

勲六等瑞宝章

十二月からは町教育委員会委員として二期八年、この間教育長として五年三か月勤められ、町の教育行政に大きな功績を残されました。受賞された感想に「長い間勤めさせていただきありがとうございました。みなさんの協力なくしては、ありえない事と感謝しています。」と語っていました。



原 久雄氏 (72)
二宮440

木 杯

ます。家族ともども健康で過ごすことができ、また、職場の上司や同僚にも恵まれました。今後は、地域のために少しでもお役に立ちたい。」と語っていました。

松本氏は、昭和八年四月大磯小学校に奉職。以来、五十年八月に市立横須賀高等学校長を退

職されるまで、四十二年間教育一筋に尽力されてきました。この間横須賀市教職員課長、同第二高等学校長などの要職を歴任されました。また、退職後も教育への情熱はさらに高まり五十二年五月、私立三浦高等学校の校長に就任し、現在も活躍中です。受賞された感想に「スポーツで鍛えた体と、横須賀市に縁が深かったことを取り上げ「健康と運に恵まれた」ことを強調さ

町では、古代から現代に至る町の歴史をみなさんに紹介し後世に残そうと、町史編さん事業に取り組んでいます。四月に準備会をつくり発刊に向けての準備を進めてきました。このたび事業推進のための「町史編さん委員会」を発足させました。この委員会では、具体的に事業計画や事業運営などの最も重要な事項について

審議することになっています。なお、この事業の推進には資料の収集が最も基礎的で大切な作業です。町の様子がかかる古い日記や書き物、フィルムなどはかけがえのない資料となります。みなさんの家にこのような資料がありましたら、是非お知らせください。総務課庶務文書係（内線318）まで。

島村氏は、昭和十一年四月、大蔵省印刷局に入局して以来、五十六年三月小田原工場を退職されるまで、四十五年間にわたる紙幣の製造一筋に尽くしてこられました。在職中は、特に、紙幣つくりの力を注ぎ「丈夫で長持ちのする紙幣」をつくるため、多くの成果を残されました。受賞された感想に「予期しないことで、大変光栄に思っています。」と語っていました。

県表彰

体育功労者に小林氏



小林 実氏

地域スポーツの振興・発展に尽くされた方々、顕著な成果をあげた方々を表彰する県体育功労者（個人の部）に、小林実さん（中里九四・58歳）が選ば

れました。小林さんは昭和二十四年町野球協会監事に就任、以来長年にわたって地域スポーツの振興や青少年の育成に尽くされました。また、三十八年からは町体育協会役員として、今日まで町の各種スポーツ団体の育成や指導にあたり、当町の体育振興の推進役として活躍されました。今回の表彰は、小林さんのスポーツに対する情熱と、そのひたむきな活動が認められたものです。

住民の声

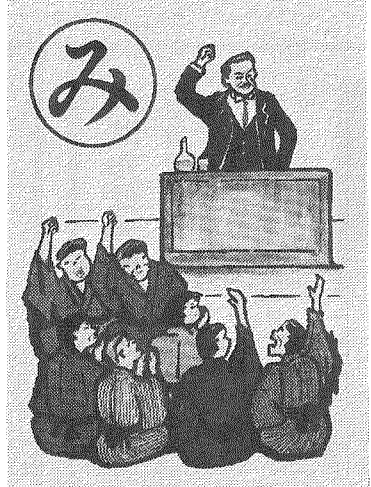
ゴミについて

二宮九一 名川光彦（八二歳） 最近、各町でのゴミの始末は大変だと聞く。実際、各家庭から出るゴミは近ごろ驚くほど多量で、町を歩いていると、ある集積場にいか所で見捨てられたゴミも、何となく見かける。それも、缶やビン、金属類をいっしょに出している所もあり、困ったものだと思う。

「住民の声」の原稿を募集しています。内容は、どんなことでもかまいません。字数三五〇字前後、題名、住所、氏名、年齢を書いて企画室までお送りください。掲載の方には謝辞を差し上げます。匿名の取り扱いもします。

先日、私の地区で（収集日でもないのに）大きな布団を出した人がいた。これが長いこと雨に打たれたりして放置され、街の美観を損ねていた。自分さよければいい、とい

この間、四十三年には消防団長に就任、町との連携のもと、消防施設の充実、消防思想の普及、操法技術の向上など現在の町消防の基礎を築きました。受賞された感想に「良き先輩や同僚に恵まれました。賞に値する程の活動ではなかったと思いますが、みなさんのおかげだと感謝しています」と語っていました。



民権の

闘士

水島保太郎

中里に生まれ、教育に意を注ぐと共に自由民権運動に奔走。県会議長、衆議院議員になった。

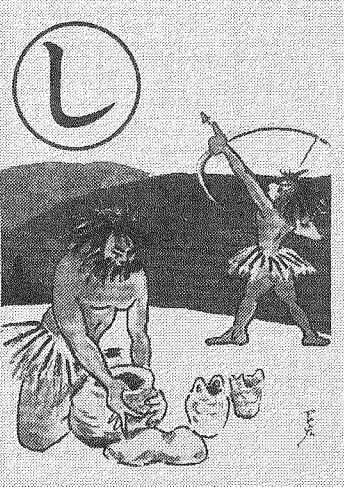
いろは「初」かるた

縄文の

早期の遺跡

林の台

一色西北、林の台から縄文早期の住居跡と土器片が発掘された。



流域関連

公共下水道

が最適

検討委員会の第一次提言まとまる

町の下水道処理対策検討委員会から、下水道の整備手法についての第一次提言が11月2日に提出されました。今回の提言では、中間的なまとめとしながらも、人口の集中する二宮町での抜本的な下水道処理対策としては、(町全体を一つの処理区とする)公共下水道の整備が必要であるとし、その中でも最も早く実現できる方法は(県の計画の見直しという問題はあろうが)酒匂川が相模川の流域下水道に接続する「流域関連公共下水道」(注)である、としています。また、住民の河川浄化に対する関心の高まり、快適な生活への願望の強さにもふれ、整備に向けて町のより一層の努力を求めた内容になりました。

下水道処理対策検討委員会は、当面の河川浄化と、当町に適した下水道の整備手法について検討をするために六十一年に設けられました。委員会は町議員二名と民間代表者十八名の合わせて二十名で構成されています。この二年間に調査、研究、先進地の視察などを積極的に行い、たくさんの討議を重ねてまとめた結果が今回の第一次提言となりました。この提言は次の三つに分かれています。

①町内河川の水質汚濁状況と浄化対策
②下水の処理対策
③町の現状に則した下水道の整備手法

すべての内容を紹介することはできませんが(四千字以上もあるため)、その主要な点を紹介します。なお、「町内河川の水質汚濁状況と浄化対策」については、下の冊子を「ご覧ください」。

下水の処理は公共下水道で

現在、町内で発生する生活雑排水や事業系排水などの汚水は、ほとんど浄化処理をしないまま河川に流れ込んでいます。また、し尿を汲み取りで処理している家庭は全体の二〇〇(今年の実態調査)にも及んでいません。これらの下水をどのように処理したらよいのでしょうか。今回の提言(②)「下水の処

に当たって、町の現状から次の四つを「配慮すべき点」として挙げています。

①国や県の補助金、起債を受けるために、県の「流域別下水道整備総合計画」(以下「流域計画」)に適合した内容をもつこと。

②町内に終末処理場を建設することは、用地選定などで非常な困難が予測されること。

③整備後、永久に続く維持管理については、規模が小さくなるほど技術的・管理的に困難が伴い、処理コストが割高になること。

④町民の理解と合意形成が必要となること。

流域関連公共下水道で整備を

検討委員会では、これらのことを踏まえて単独公共下水道「流域公共下水道」「流域関連公共下水道」の三方式について検討を加えました。(それぞれの方式の利点・問題点については、先月号の広報でお知らせしています。)

町内河川の水質汚濁状況と浄化対策

町の中央を縦断して流れる葛川は、県が管理する二級河川です。この川の水質環境基準はBOD5(5日間の生物分解性有機物の濃度)が1日1リットル当たり5mg(ミリグラム)以下と定められています。

葛川の水質の現状は、上流部と下流部では基準内ですが、生活排水が流入する中流部では、基準をかなり上回っています。とくに、事業系排水や畜産排水も加わる中流部から下流にかけては、BODも著しく高まり魚の住め

(注)流域関連公共下水道とは
県の流域下水道に接続する公共下水道。町では分担金を払って県に下水の処理を依頼する。町内の下水管の整備に専念できるので、早期の使用開始が可能。

ます。

検討の結果、財政面、終末処理場用地、維持管理面のいずれにおいても流域関連公共下水道が優れている、となりました。

現在は区域外

しかし、現在、町は県の流域計画の中で流域下水道の整備区域になつていません。そこで、提言では今後、県に対して計画の見直しをされるように強力に陳情、協議し、あわせて流域下水道関係市町に対しても参加できるように依頼することがせむと必要である、としています。

また、最後に、下水道の早期実現に向けて町の一層の取り組みを求めて、この第一次提言の締めくくりとしています。

この提言のお問い合わせについては、都市計画課都市計画係(内線283)へどうぞ。
☆「下水道へのみち」は休みません。

それに基づく川をきれいに「のキャンペーン」の強力な推進。また、クリーン作戦を川にまで拡大することによる町民の意識高揚。

②汚濁負荷量の75%は家庭から排出されるので、台所等で発生するゴミ、雑排水の適正な処理と、し尿浄化槽の適切な管理の啓もうPRの継続。

③家庭排水に次いで負荷量の多い、事業系排水や畜産排水の適正処理の指導強化。

一芸に秀でる

私は長年、剣道を修業しています。また、この体育館で仕事を続けるうちに、ほかのスポーツもいろいろ知ることができました。そこで最近、スポーツにはすべて共通点があることに気が付きました。

①剣道では、次のことを動作の基本として教えています。

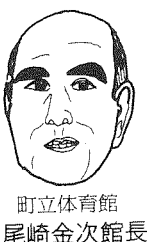
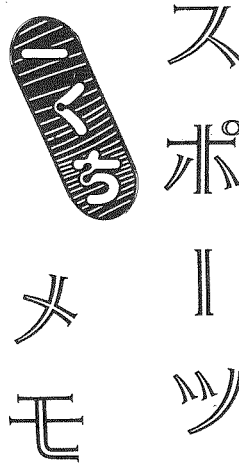
②下腹に力を入れるが、全身はリラックスした自然体。

③かかとを軸に、すり足で動く。

④目は相手の竹刀を見るだけでなく、相手の全体に気を配り、心の動きを見る。

⑤打撃は「小手先」だけでなく全身を使い、打つ瞬間だけに力を入れる。

このように動作は考えてみる、肉体的活動であるスポーツにとつては合理的であり、ほとんどの種目に共通しているものと思えます。一つのスポーツで



No.11

町立体育館
尾崎金次館長

と親しむ

カイガラムシ

植物のしるを吸う害虫にはアブラムシのほか、カイガラムシと呼ばれる昆虫がいます。分泌したワックスで体の表面をおおひ、小さな貝殻のような姿をしています。

種類

矢じりに似ているところから「矢の根」と名付けられた、ミカンの代表的な害虫「ヤノネカイガラムシ」。粉状の口

生態

ほとんどのカイガラムシは幼虫のときだけ歩き、その後には貝殻をかぶって動きません。越冬した成虫は貝殻の下に卵を産みます。この卵からかえった幼虫は適当な場所から汁液を吸いはじめ、植物の表面にワックスを分泌して、体の表面に口をくわす。そして、体の表面にワックスの貝殻をくわす。この貝殻は、物質の貝殻をくわすから大きくなっていきます。

被害

寄生する植物は、ナシやカキ、ミカンなどの樹木がほとんどです。被害は次のように現われます。

①果実に寄生して、その部分

防除方法

カイガラムシの身の中に寄生する小さいハチや、カイガラムシを食べるテントウムシなどの天敵がいて、かなり密度を抑える働きをしてくれま

(県園芸試験場)

みなさんに親しまれ300号

広報300号のあゆみ

昭和30年代

昭和30年9月15日 創刊号 (写真A)
タブロイド版(本紙の大きさ)4ページ、部数約2800で隔月に発行。西山喜八郎町長のあいさつ「不手際のところも多々あると存じますが、皆様方の御指導をいただいてこの広報が将来、二宮町に無くてはならない連絡紙として成長していくよう、ぜひとも御支援を賜りたい。」には、32年を経た現在でも担当全員まったく同じ気持ちです。

昭和32年5月15日 第11号
当初予算が4132万円で決定。30年後の今年の予算は約41億円。ちょうど百分の一です。
昭和33年10月10日 第21号 (写真B)
二宮・大磯の町村合併中止。町を二分したこの問題は、反対多数で中止に決定しました。

40年代

昭和41年4月25日 第63号 (写真C)
表紙の写真は百合が丘団地。2月から入居が始まり、1年間で3000人の人口が増えています。(42年5月の人口は18,116人。)

昭和44年6月1日 第76号
西湘バイパス(二宮インター)、小田原~厚木道路が相次いで開通、また、翌年7月には県道(秦野~二宮線)も完成し、二宮の交通状況は一変しました。

昭和47年9月5日 第117号 (写真D)
社会福祉センター、庁舎、図書館など、町の重要な公共施設を建てるために、吾妻山の造成工事が始まっています。

昭和47年12月5日 第120号 (写真E)
し尿処理センター(現在の桜美園)の建設をめぐり、47年から50年にかけてたびたび紙面で経過報告と住民の意見を掲載しています。

昭和48年7月5日 第127号 (写真F)
町の花・カンナと、町の木・ツバキがみなさんの応募で決まりました。

昭和48年8月5日 第128号
広報編集委員会の設置。また、夏の花火大会が始まったのは、この年からです。

50年代

昭和50年6月
広報にのみや「お知らせ版」発行。
昭和53年2月10日 第182号 (写真G)
「富士見が丘」地区の誕生。50年ごろから本格的に入居が始まり、今では約1000世帯(3600人)の住宅地になっています。

昭和53年7月10日 第187号 (写真H)
町民憲章の制定。170余通の応募の中から神保清さん(二宮1539)の草案をもとに決定されました。

昭和54年8月10日 第200号
創刊から24年で第200号に。
昭和57年9月10日 第237号 (写真I)
橋上駅(二宮駅)の完成。計画着手から14年目、念願の橋上駅ができました。

60年代

昭和60年11月10日 第275号
昭和10年に町制が施行されて50年。いろいろな記念行事が催されました。

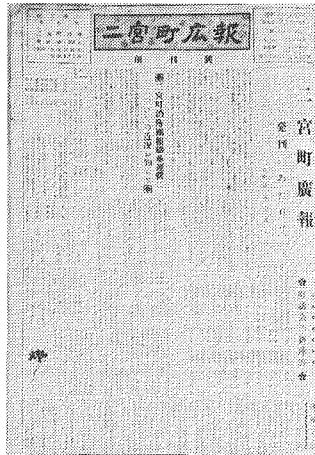
昭和62年2月10日 第290号
この月から毎月6ページの発行に。連載物も増え、みなさんの身近な話題なども紹介できるようになりました。

広報にのみや創刊以来32年

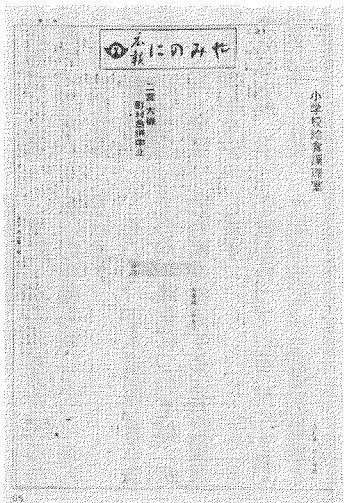
広報発行と人口の推移

号数	発行月	部数	人口
創刊号	30年9月	2,800部	13,156人
100号	46年6月	6,000部	22,129人
200号	54年8月	7,500部	26,416人
300号	62年12月	9,300部	28,962人

「広報にのみや」が、今月号で三〇〇号となりました。昭和三十年九月に第一号を発刊して以来、行政の施策や活動などの情報を町民のみなさんにお知らせし、行政サービスに努めてまいりました。創刊当時はタブロイド判(現在と同じ)の二ページで隔月発行でしたが、四十八年、住民参加による広報紙づくりを目指し「町広報編集委員会」を発足。町民のみなさんの意見を反映させた広報紙として様変わりしました。みなさんと歩んで三十二年、今後も魅力ある広報紙を目指して発行しますので、よろしくお願ひします。



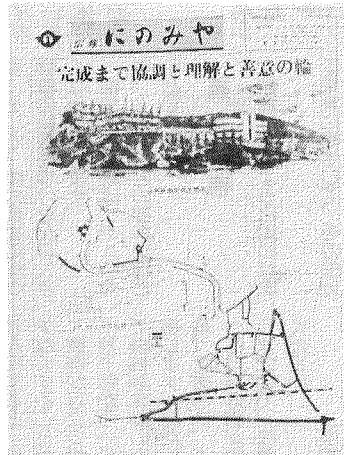
A 創刊号 (30.9.15)



B 第21号 (33.10.10)



C 第63号 (41.4.25)



D 第117号 (47.9.5)



E 第120号 (47.12.5)



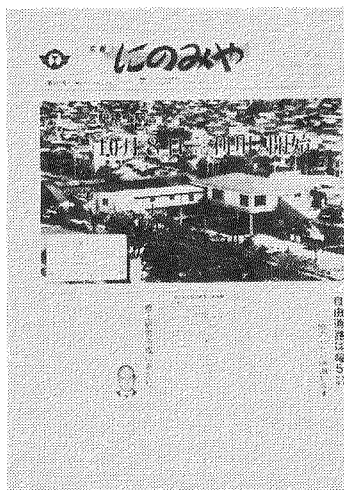
F 第127号 (48.7.5)



G 第182号 (53.2.10)



H 第187号 (53.7.10)



I 第237号 (57.9.10)

ふるさと もの知りクイズ

広報300号記念
10名に記念品が当たります

広報紙にちなんだ問題です。三つの答えの中から正しいものを選び、官製ハガキに答えの記号(例、問1-A)住所、氏名、年齢を書いてお送りください。全問正解者の中から抽選で10名に記念品をプレゼントします。なお、応募は1人1通に限らせていただきます。(ヒント…右ページの「広報300号のあゆみ」をよく読んでね。)

問1 広報創刊号が発行されたのは昭和30年9月15日のことでした。では、そのときの発行部数は次のどれでしょう。
A 800部 B 2800部 C 5800部

問2 催しなどを詳しくご案内する「お知らせ版」が、発行されたのはいつからでしょう。
A 昭和40年 B 昭和50年 C 昭和60年

問3 広報紙が6ページの毎月発行になったのは、昨年の何月からでしょう。
A 1月 B 2月 C 3月

☆あて先 二宮町二宮961番地 町役場企画室
☆締め切り 12月25日まで(当日消印有効)

初優勝を飾った下町チーム



町内一周青少年継走大会

青少年が健やかに育つことを願い始まった町内一周青少年継走大会。今年は第六回を迎え、十六チームの参加を得て、十一月九日(日)盛大に開催されました。

大会は沿道のあちこちから大きな声援が飛び交う白熱したレースとなり、第一回大会以来五連勝を誇る中里チームを下町チームが逆転、初めて優勝しました。

なお、上位の成績は次のとおりです。第一位 下町チーム、第二位 中里チーム、第三位 富士見が丘二丁目チーム。

田辺 房一さん
富士見が丘一七
ベスト1 晴れた日に富士の山を見て、自分の好きなこと(書道など)ができました。



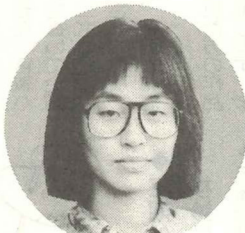
ベスト2 次男の結婚。親の役目も終わり、さみしい気もするが、まずはひと安心。
ベスト3 十三年前に公害を逃れて川崎から引っ越してきました。富士見が丘の坂を上から下まで駆け、老化予防に努めています。

奥村 陽子さん
山西二〇二五七



ベスト1 年末で喜寿を迎える姑が、敬老会に初めて出席。
ベスト2 末娘の就職が決まったこと。ささやかな家計にとっては、大きな福音です。
ベスト3 自動車運転免許を取ったこと。以来、車は私の手足となり、世界が広がりました。

宮戸久美子さん
二宮五一四



ベスト1 子供たちが病気をしなくなり、家族全員が元気に過ごせたこと。
ベスト2 娘(五歳)が保育園に入園したこと。
ベスト3 年間を通して家族で野外で遊ぶことが多くなったこと。楽しさが増えました。

~'87わが家の出来事 ベスト3~

今年も間もなく終わろうとしています。この一年、うれしいことや悲しいこと、楽しいことなど、いろいろな出来事がありました。町民のみなさんに一年を振り返っていただき、わが家の出来事からベスト3を選んでもらったのがこの企画。お宅ではベスト3に何を選びますか?

野谷 弘美さん
百合が丘二二二八



ベスト1 末娘のさやか(五歳)が、心配していた登園拒否も起こさず元気に幼稚園に通ったこと。
ベスト2 自治会の幹事を受けたこと。友人・知人が増え、人生勉強にもなりました。
ベスト3 今年も一年間ひまわりの似合う明るい我家に感謝。

柏木 稔さん
一色二〇四八

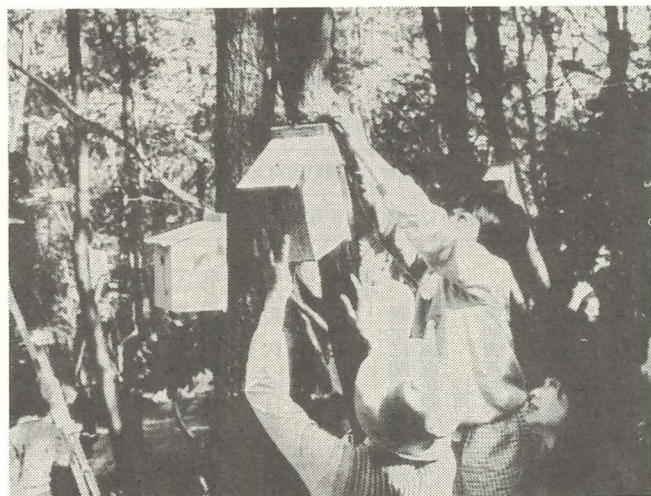


ベスト1 家族全員、健康で一年が終わったこと。
ベスト2 ついに子供(長女・中2、長男・中1)に背を越されたこと。うれしいやら、悲しいやら。
ベスト3 一色地区ふれあいゲートボール大会で我が中里チームが二年連続優勝をしたこと。

町内かわら版

吾妻山に小鳥を呼ぼう!

子育連 創立十五周年記念



町の子ども会育成会連絡協議会(会長・小林進さん)では、創立十五周年を記念して十一月八日(日)に、吾妻山公園の小鳥の森で集箱かけを行いました。

吾妻山公園に小鳥を呼ぶうを合言葉に、当日集まった参加者は一五〇人。親子や子供たちのグループに分かれて、二三の集箱を木々に結びつけました。

これらの集箱は全部、子供たちの手作り。主にシジュウカラやゴジュウカラなどの小鳥用に、大きさを考えて作られています。

これから寒さも厳しくなっていくと思いますが、小鳥たちにとって手作りの集箱は暖かなねぐらとなることでしょう。

全国大会で銀メダル

身体障害者スポーツ大会



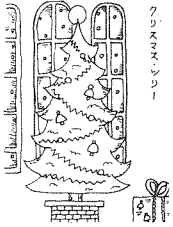
本紙十月号で紹介した第23回全国身体障害者スポーツ大会(十一月十四日・十五日、沖縄県で開催)に、斉藤信治さん(29歳・百合が丘在住)が出場しました。

この大会の神奈川県代表選手に選ばれた斉藤さんは、片足の不自由(障害等級三級)を克服し、水泳の50m自由形と立幅跳びに出場、それぞれ銀メダルと銅メダルを獲得しました。

「成績よりも、大会を通して多くの人と知り合い、交流を深められたことに満足しています。」と斉藤さん。

夏は水泳、冬はスキーとスポーツ万能な斉藤さん。今後、活躍が期待されます。

大活躍の斉藤さん(右側から二人目)



葉山 茂行くん (二宮中) の作品

くらしのしおり



植村 芳江さん (主婦) の作品



交通災害見舞金

交通事故によって死亡した被害者を受けた方に、見舞金を支給する制度が町にはあります。支給の対象は二宮町に住所があり、過去一年以内に交通事故に遭われた方です。ただし、被害者に故意または重大な過失があるときは、支給されません。

見舞金額 ①死亡したとき……20万円(成人) 10万円(幼児) ②傷害を受けたとき……7万円(80日以上入院) 1万円(7日未満入院)

必要書類 交通事故証明書、死亡診断書(または入院証明書)

申請・問合せ 生活環境課生活安全係(内線245)まで

幼稚園就園奨励費の振込み

62年度分の私立幼稚園就園奨励費を、11月30日付けで受給者指定の金融機関へ振り込みました。確認してお受け取りください。

年金相談

年金についていろいろな相談に応じます。



国民年金保険料

は口座振替で 国民年金保険料のお支払い、口座振替が便利で確実です。町内の金融機関(郵便局は除く)の窓口で直接お申し込みください。

町民福祉課社会福祉係(内線236)まで

広報1月号は新聞折込みで

来月号の広報は、新年号にあたりまして、1月1日(元旦)の朝、読売、朝日、毎日、日経、サンケイ、東京、神奈川の各新聞に折り込んでみなさんの家庭にお届けします。そのほかの新聞をお取りの方は、企画室広報広聴係(内線325)までご連絡ください。



子どもクリスマス大会

とき 12月20日(日) 14時～16時
ところ 県立平塚青少年会館(平塚市浅間町12-41)
対象 親子と子10人 無料
内容 ゲームとキンドル
問合せ 県立平塚青少年会館(022-7029)まで

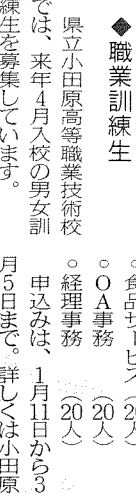
ジュニア・スキー教室

とき 1月5日(火) 17時～30分
集合は5日の17時30分、西湘ハイパス入口
ところ 長野県白樺湖山スキー場



カット募集

このページの「くらしのしおり」の左右にあるカットから出たとき、後を追って来て「支払いを間違えました」などと声をかけられても信用しない。その場合は窓口に戻って確認してください。



職業訓練生

県立小田原高等職業技術校では、来年4月入校の男女訓練生を募集しています。

募集内容
・美容 (30人)
・福祉サービス (20人)

・食品サービス (20人)
・OA事務 (20人)
・経理事務 (20人)

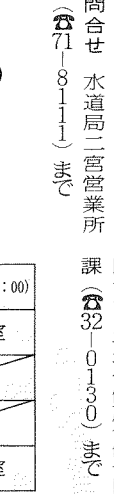
申込みは、1月11日から3月5日まで。詳しくは小田原高等職業技術校(0465-23-2275)へ。

水道管の凍結防止

寒さで水道管が凍結し、破裂することがあります。早めに凍結防止の準備をしましょう。

水道管に毛布、布切れ、なわフルトンなどを巻き付け、その上からビニールテープなどを巻きます。万一、破裂したら、修理は水道局の登録店に連絡してください。

問合せ 水道局二宮営業所(071-8111)まで



定期外結核検診について

この検診は結核に感染する(または、させる)機会の特に関心のある方に実施しています。

次の職業の方は、町や職場の定期健康診断を受けていてもかからず受診してください。なお、最近3か月以内に

月 日 (63年)	午前(10:00~11:30)	午後(13:30~15:00)
1月12日(火)・22日(金)	平塚保健所2階エックス線室	
2月3日(水)	大磯町保健センター	
4日(木)	大磯町国府支所	
9日(火)・12日(金)	平塚保健所2階エックス線室	

子犬の里親制度について

県動物保護センター(平塚市土屋4-1)では、愛情と責任をもって終生飼育することができ、子犬をお譲りする里親制度を実施しています。

子犬は生後2~3か月の稚犬で、捨て犬を防止し不必要な繁殖を避けるために不妊手術を施す場合があります。

編集室

この広報も今回で300号。創刊号昭和30年からのあゆみを調べてみました。人口は今の半分以下、町予算は1%にも満たない創刊当時から



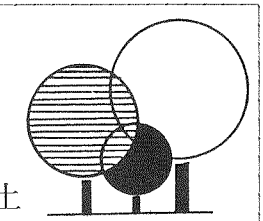
毎年12月は、通常の2倍近い登記申請があります。また、特に今年は受付が増える傾向にあります。年末には相当の混雑が予想されますので、登記申請や登記簿の謄本などの請求は早めに提出をお願いします。

なお、次の期日までに提出のあった申請については、年内に処理するように努力します。

一、表示に関する登記申請
(1)実地調査を要するもの 12月11日(金)
(2)実地調査を要しないもの 12月15日(火)

二、権利に関する登記申請 12月18日(金)

問合せ 横浜地方支局平塚出張所(022-6666)まで



固定資産税(第3期分)12月25日
国民年金保険料(12月分)12月25日
納税で 豊かに伸ばそう 我が郷土

写真を差し上げます
本紙掲載写真に写っている方は、企画室広報広聴係(内線三五)へご連絡ください。無料。

町の人口	
(11月1日現在)	
総数	28,962人
男	14,259人
女	14,703人
世帯数	8,578世帯
(人口統計による)	